

大間原子力発電所 発電所専用港湾付近の海底地形測量の概要について

1. 目的

新規制基準適合性審査における津波に係る審議状況等を踏まえ、津波評価に係る海底地形データの取得を目的として、発電所専用港湾付近で海底地形測量を実施します。

2. 測量の概要

測量の位置、項目及び内容は、表1及び図1のとおりです。

表1 海底地形測量の内容

位置	項目	内容*
発電所専用港湾付近 (南北約 2.4 km, 東西約 1.5 km)	<ul style="list-style-type: none"> ● 海底地形測量 ● 底質調査 ● 底質試料採取 ● 砂層厚調査 	<ul style="list-style-type: none"> ● マルチビーム測深器により海底地形データを取得(図2) ● 地層探査機により底質分布に係るデータを取得(図2) ● 表層採泥器や潜水土により底質試料(20箇所程度)を採取(図3) ● 潜水土が突き棒を用いて砂層厚を計測(図4)

* 内容については、測量の進捗等に応じて変更することがあります。

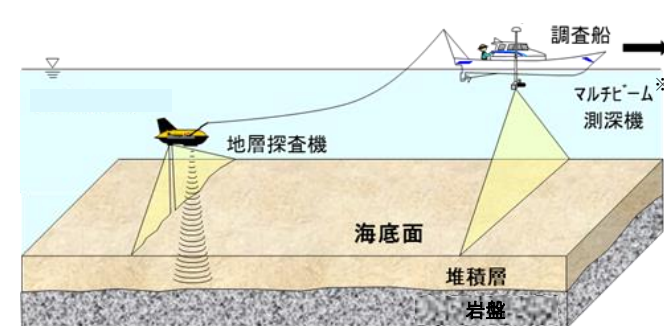


この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)を使用したものである。

図1 海底地形測量

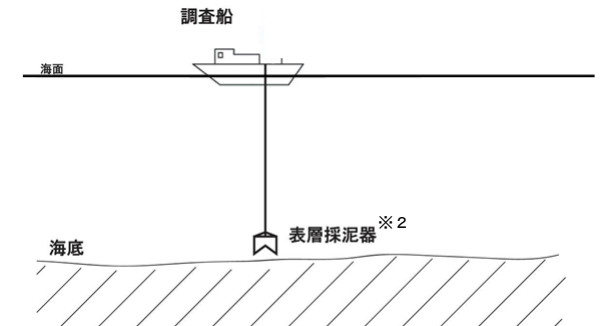
3. 測量の時期

測量は、8月に着手し、本年9月末の完了を予定しています。
なお、作業の進捗等に応じて測量時期は変わる場合があります。



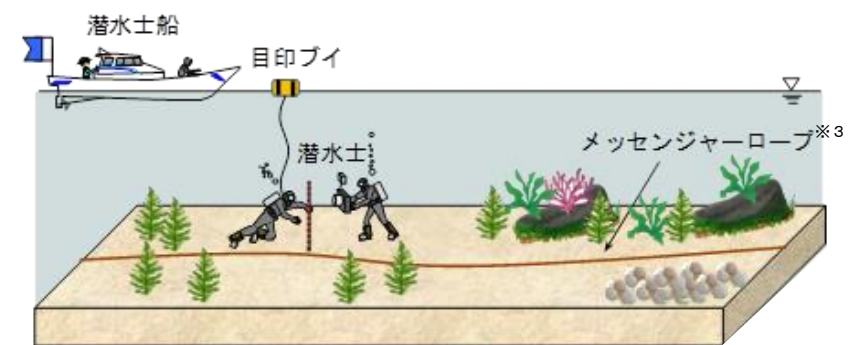
※1: 複数の音波を同時に発振し幅広く水深データを取得する機器

図2 海底地形測量・底質調査



※2: 潜水土により採取することもある。

図3 底質試料採取



※3: 調査箇所の目印とするロープ

図4 砂層厚調査